

主要事業個別シート(第2次実施計画/H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	建設部
	19087	都市計画道路整備事業(野村布気線)	室名	道路整備室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	会計	01:一般会計
	基本施策	09:道路網の整備	款	08:土木費
	施策の方向	01:幹線道路の整備	項目	02:道路橋梁費
戦略プロジェクト	-	項目	03:道路新設改良費	
事業予定期間	H 18 ~ H 30 年度	主な根拠法令要綱等	道路法、道路構造令	

② 目的・概要	対象	市民及び来訪者
	目的	県道亀山関線と併せ、亀山市街と関地区を結ぶ幹線道路となる当路線を整備することで、生活の利便性や防災機能を向上させるとともに、産業活動や地域間交流の促進を図る。
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・施工延長 L=900m ・幅員16m(2車線 両側歩道) ・長田池橋梁(工法については、平成27年度中に実施手法を検討) 	

		平成27年度	平成28年度			
③ 年度別事業計画	工事(排水路等) 用地買収		工事(排水路) 道路改良工事(その3) 用地買収(後金)			
		事業費	539,800千円	411,200千円		
	計画額	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債	509,700千円	387,500千円		
		その他				
		一般財源	30,100千円	23,700千円		
	予算額	事業費	485,516千円	334,440千円		
		国庫支出金				
		県支出金				
地方債		460,000千円	317,718千円			
その他						
一般財源	25,516千円	16,722千円				
期間内総事業費(H27・H28)①		951,000千円	期間外事業費(H29以降)②	870,900千円	総事業費 (①+②)	1,821,900千円

				平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)	
①	名称	整備進捗率	活動	計画値	30	43	86
	補足	実施済み事業費/総事業費		単位	%	%	%
②	名称			計画値			
	補足			単位			
③	名称			計画値			
	補足			単位			
④	名称			計画値			
	補足			単位			

事務事業評価シート

H28(主要事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	建設部
	19087	都市計画道路整備事業(野村布気線)	室名	道路整備室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	財 会計	01:一般会計
	基本施策	09:道路網の整備	務 款	08:土木費
施策の方向	01:幹線道路の整備	科 項	02:道路橋梁費	
	戦略プロジェクト	-	目 目	03:道路新設改良費

② 目的・概要	対象	市民及び来訪者
	目的	県道亀山関線と併せ、亀山市街と関地区を結ぶ幹線道路となる当路線を整備することで、生活の利便性や防災機能を向上させるとともに、産業活動や地域間交流の促進を図る。
概要	概要	・施工延長 L=900m ・幅員16m(2車線 両側歩道) 長田池橋梁(工法については、平成27年度中に実施手法を検討)

		27年度	28年度
①	名称	整備進捗率	計画値 30
	補足	実施済み事業費/総事業費	実績値 28
			単位 %
②	名称	計画値	
	補足	実績値	
		単位	
③	名称	計画値	
	補足	実績値	
		単位	
④	名称	計画値	
	補足	実績値	
		単位	

年度計画				年度実績				
工事(排水路) 道路改良工事(その3) 用地買収(後金)				工事(排水路) L=200m(H29年度繰越) 道路改良工事(その3) L=260m 用地買収(後金及び1社買収)				
④ 事業の計画・実績	事業費	事業費	計画額 411,200	予算額 394,640	決算額 332,291	人件費	総人件費 ① 2,636	平均給与額×③
		国庫支出金		0	0	一般職員人件費 ② 2,636	⑤ / ⑥	
		県支出金		0	0	所要人員 ③ 0.36		
		地方債	387,500	317,718	315,676	臨時職員人件費 ④ 0		
		その他		0	0	受益者負担額 ⑤ 0		
		一般財源	23,700	76,922	16,615	受益者負担率 0.0%		
		再掲	翌年度への繰越額		58,752			
		前年度からの繰越額		60,200	60,020			
		総人件費			① 2,636			
		総コスト			⑥ 334,927			

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	平成19年度から、難航していた企業との用地買収が完了した。平成30年度の道路供用開始に明るい見通しが出来た。 工事については、平成28年度より、用地取得が完了した箇所より工事を行い、道路改良工事(その3)は完成した。	総合判定 A 順調に進んだ
	【反省点・課題】	長年の懸案事項であった用地買収が完了した。今後も、工事を進めていく上で、丁寧な説明と相手の希望も聞きながら調整を行い、進めていく必要がある。	
	【改善の方向性】	平成30年度完成目途に進めていくなかで、工事間内調整も行い、着実な事業進捗に努めていく。	
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 道路整備室長 服部 政徳